

災害級の暑さが続く毎日、酷暑にめげず、老骨に鞭打ち、病軀を押しての短時間の畑仕事以外に、特段何もなく無為の日々を過ごしていたが、一念発起し、電子書籍に挑戦することとした。これ以前、大東亜戦争メモランダムも終末段階に近づいたので、もっと広く多くの日本人に読んで欲しいので、出版すべく検討開始した。

1 紙書籍出版の厚い壁

大東亜戦争メモランダムという小難しい内容でもあり、出版仲介業者にエントリーしても反応なく断念せざるを得なかった。小生が思うほどには、出版社の関心を惹かなかったようだ。残念だが…

2 自費出版には相当の出費もかかるので、二の足を踏んでいたところ、偶々盆で訪ねてきた息子と話をしたら、「Kindleに挑戦した見たら。」とアドバイスされた。

3 日頃 Amazon を活用しているとは云え、Kindle とは無縁であったので、電子書籍出版のノウハウもなく、関連本を読み、NET で色々調べてみた。

4 実際に準備を始めると、問題点が二つ、一つは原稿の校正作業、二つは、表紙をどう準備するかだった。校正作業はAIに任せることにした。色々な校正ソフトはあるが、試した結果AIの正確度が高いと感じた。二つ目の問題は、表紙だ。調べてみると「表紙で9割決まる。」と云われる由。小生の描画能力では無理なので、業者に依頼することとした。要望を出し、何回かの手直し作業を経て、概ね所望の表紙を作成し得た。費用約1万円。一寸高い出費だが、これも日本の為に必要な経費であると割り切る。

5 300話超を一挙に発刊するよりも区分発刊した方が良いのではと思料し、表紙にそれが解るように表示することとして、その旨依頼した。記述は小生自らが行うのだが、当初は思うに任せず、苦勞したが、何とか出来るようになった。

6 準備完了したので、第一分冊の出版準備だ。出版申し込みまでは所要のデータを淡々と入力すればよく特段の難しさはなかった。



7 アマゾン側において販売準備が完了されたので、全て完了かと思いが、然にあらず、審査があった。販売準備完了までに2、3日、審査完了までに更に2、3日を要した。

審査はアマゾンが、著作権等違反が無いかをチェックしたようだ。小生のメモランダムと同じものが大東亜慰霊協のIPでアップされているが、問題はないのかとの質問があった。メモランダム出版の経緯、小生のIPにアップし、同じものを慰霊協のIPにアップしている、メルマガでも発行していること等を説明して小生に権限があることをやっと納得して貰った。従って、これらの手続きに約5日を要することが判明したので、次作からは余裕を持った処置が必要だ。

8 最後の問題は、発刊したことを如何にして広く周知し、読んで貰うかだ。Facebook や x 等で pr するが効果は未知数。口コミが一番か？

9 果たして傘寿の挑戦は奏功するか？

https://www.amazon.co.jp/-/en/%E5%B1%B1%E4%B8%8B%E8%BC%9D%E7%94%B7-ebook/dp/B0CZF3QT1J/ref=sr_1_1?crid=2PYSZNJ835YQV&dib=eyJ2Ijo1MSJ9.m6kzJiGoxrXAByxU_jpEeqBr8tzb0pD17ykPiq_TK6TGjHj071QN20LucGBJIEps.ON0xUA3tCxIt9vTYrx5Qo5Fd4TvaWqHOM_ujIAcCCTI&dib_tag=se&keywords=%E5%85%88%E3%81%AE%E6%88%A6%E4%BA%89%E3%81%A8%E3%81%AF%E4%BD%95%E3%81%A0%E3%81%A3%E3%81%9F%E3%81%AE%E3%81%8B&qid=1724052560&s=digital-text&prefix=%2Cdigital-text%2C169&sr=1-1